



## 2026 年度 JANPU-CBT 実証事業 【実証校の公募】参加条件

【2026 年度 JANPU-CBT 実証事業 参加条件】\* 下記①-⑫を満たすことを事前に確認する。

- ①上記 JANPU-CBT 実施日のいずれかに参加できる。複数回・複数日受験はできない。
- ②実証校として決定後、各実証校に JANPU-CBT 実施本部よりアカウントを配布する。JANPU-CBT 実施本部は、学生の個人情報は扱わない(学生の個人情報は入力しない)。各実証校で学生 ID と氏名などの紐づけが必要な場合は、各実証校でデータを管理する。
- ③本事業では、対象を 3 年前期・後期セメスターの臨地実習直前の学生を想定している。しかし、2026 年度は会員校の CBT 運用についての評価を目的としているため、上記以外の学生や日程により全ての学生が参加できない場合にも実証事業への参加申し込みも可能とする。どの時期の学生が妥当であるかの検討・判断は各実証校がカリキュラムに基づき実施する。
- ④対象学生の ICT 媒体を準備できる(個人所有の ICT 端末も使用可能)。2026 年度 JANPU-CBT はインターネットブラウザを使用する。OS の指定はないが「Microsoft Edge」、「Apple Safari」、「Google Chrome」のいずれかに接続できるように準備する(「Internet Explorer」は非対応)。問題形式は、5 選択肢／多選択肢／順次解答4連問5選択一形式である。設問が十分に閲覧できる媒体はタブレットもしくは PC であるため、これらを満たす ICT 媒体が確保できることを事前に確認する(スマートフォン画面サイズには対応していない)。
- ⑤対象学生と教職員の ICT スキルを確認できる。各実証校責任者や試験監督の教職員や学生が、ICT を用いた試験や確認テスト、アンケートなどを実施した経験がある(回答者としての経験がある)。なお、実証校責任者については上記条件を満たす者が担当する。
- ⑥JANPU-CBT 実施にあたり、事前に指定する MEXCBT を用いた動作確認を各実証校で実施する。
- ⑦各実証校は教室(試験会場)と実施体制と試験監督を準備できる。対面実施のため各実証校で実施体制を準備する(各実証校の参加学生に応じた実施体制)。
- ⑧インターネット環境を準備できる。1 端末あたり 0.35 Mbps～0.5Mbps の帯域が必要となる。画像を利用した問題を再生する場合には、環境により動作が遅くなる可能性がある(試験時間に影響する可能性がある)。インターネット通信料は各自負担となる。インターネット環境は学生人数に対応できる教室を準備する(必要時、教室の定員数の半数になどネットワークや学内サーバーへの負荷を抑える)。学内の CBT の実施環境を確認するためには 1 学年の人数を想定した全員参加が望ましい(推奨)。
- ⑨ICT 媒体の準備・保守管理は CBT 管理運用各実証校責任者が行う。
- ⑩JANPU-CBT 実施本部は、各実証校の ICT 媒体・インターネット・ICT スキル・実施体制・教室(試験会場)などの不具合などに関する対応は行わない。各実証校での対応となる。
- ⑪2026 年度 JANPU-CBT 実証事業の公正な準備と運用のために、遵守事項を確認の上、「実施要項」と「学生用マニュアル」に基づき実施できる。
- ⑫各実証校責任者、各実証校監督者、参加学生は下記を提出できる
  - i 各実証校責任者は「参加申し込み(各実証校)」「実証校としての遵守事項の同意」「予定最大受験者数」「事前動作確認報告書」「2026 年度 JANPU-CBT 各実証校終了後報告書」を提出できる。
  - ii 各実証校監督者は、「2026 年度 JANPU-CBT の守秘等(学生以外の関係者)」「2026 年度 JANPU-CBT 各実証校監督者・関係報告書」提出できる。
  - iii 参加学生は、「学生終了後アンケート」「2026 年度 JANPU-CBT の守秘等に関する説明と同意」を当日提出できる。